

賞金総額 1,000 万円！スタートアップと共に課題解決に取り組む アグリテックコンテストの提案を募集します

豊橋市の農業課題を解決するアイデアを全国の農業系スタートアップ（アグリテック）から募集するアグリテックコンテストを、昨年度に引き続き開催します！賞金総額（支援金）は1,000万円。ぜひ、ご応募お待ちしております！

コンテストは、「未来の農をつくる」と題して、令和4年度から豊橋市が行うスタートアップと地域農業関係者との共創による実証開発プロジェクト「TOYOHASHI AGRI MEETUP」の一環で進めています。



《 TOYOHASHI AGRI MEETUP
とは？ 》

地域の農業関係者の課題や協業ニーズを踏まえて、地域農業関係者と全国の技術や解決策を持つアグリテック企業等が共創し、地域の農業課題の解決につながる新製品・サービスの開発を目指す取り組みです。

TOYOHASHI AGRI MEETUP の流れ

交流会（6月、9月、3月）

アグリテックと農業者との交流機会の提供

マッチングプログラム（8月）

農業者の課題、協業ニーズを抽出

アグリテックコンテスト（9月～1月）

アグリテックからの提案を募集、選考、入賞者の確定

→ マッチング・プロジェクト組成 → 実証開発（R6～）

※昨年度入賞企業への専門家による実証開発支援は並行して実施しています

ポイント1 農業関係者30人以上にヒアリングを実施！農家の生の声をもとに課題を抽出！

ポイント2 アグリテックコンテストに参加するスタートアップを全国から募集します！

1. 対象者

豊橋市の農業関係者（生産者、JA、農業系事業会社、等）が抱える課題の解決や改善に向けた取り組みを実施できる個人・法人の方

2. 応募資格、スケジュールなど

別紙参照

3. 賞金（支援金）、受賞企業数

総額1,000万円、3社程度

4. 申し込み方法

下記 URL または二次元バーコードを読み取り、応募フォームからお申込み下さい。

<https://forms.office.com/e/0Zc9ieqbJ1>



【10/15〆切】

別紙 アグリテックコンテスト募集概要

1. 募集する提案について

以下の内容を満たす、豊橋市での農業イノベーション創出に資する提案を募集します。

- コンテスト応募の翌年度に実証実験の開始が可能な提案
- 既存の製品・サービスのための提案ではなく、豊橋市の農業課題解決に重点を置き、未来の農業をつくっていく提案
- 実証開発の開始から2年後の社会実装を目指す提案

2. スケジュール

エントリー受付	令和5年9月20日（水）
エントリー〆切	令和5年10月15日（日）
審査期間（書類審査・面談審査）	令和5年10月16日（月）～12月中旬
ファイナリスト決定	令和5年12月下旬
コンテスト・表彰式	令和6年1月29日（月） 場所：穂の国芸術劇場 PLAT
実証実験の計画策定	コンテスト終了後～令和6年3月中
実証実験の開始	令和6年4月～

3. 審査ポイント

審査項目	審査	審査ポイント
実用性・導入可能性	書類・面談審査 共通	提案の技術・サービスは豊橋の農業現場で役立つものであり、豊橋の農業現場の課題が解決できると感じられるか 豊橋市の農業関係者において、コスト等の観点から技術・サービスの導入・試用が見込めそうか
新規性・独創性		技術・サービスの提案に、新しい技術やこれまでにない視点が含まれているか
市場性		豊橋市及び日本の農業の市場（将来を含む）を踏まえて、普及が進みそうなサービスか
チーム体制		プロジェクトを推進する体制があるか チームメンバーは適切な人材がそろっているか
資金使途		予定している資金使途は適切か
市内農業者とのマッチングの確度	面談審査のみ	コンテスト終了後、市内農業者等との共創による実証開発に進めそうか
意欲・熱意		中長期で当地域の課題解決に想いをもって取り組めそうか 面談を通じて、応募者の情熱が伝わってくるか

4. 解決を募集する課題について

令和5年9月20日（水）までに以下 TOYOHASHI AGRI MEEETUP の専用ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/contest>



(参考)

《昨年度入賞企業 実証内容概要》

・クオンクropp株式会社

商品単位での温室効果ガス排出量を見える化できる独自アプリ「My エコものさし」を用いて、地域におけるサステナブル消費の喚起や花卉生産者と連携して商品の付加価値向上を目指す。

・テラスマイル株式会社

テラスマイル社が持つ農業データ基盤 RightARM を活用し、トマト施設園芸における収穫量の傾向予測支援を行う。予測結果を用いて収穫計画を立て、収穫の作業工程の効率化や契約出荷先へ精度の高い情報提供ができるかどうかを実証する。

・株式会社 TOWING

地域で未活用となっているバイオマス資源を活用し、脱炭素・有機農地転換を両立する高機能バイオ炭の製造および栽培実証を行う。

《アグリテックとは》

農業 (Agriculture) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語。農業分野 (農業生産、流通、加工、販売等) において、AI や IoT など先進的なテクノロジーを用いて、課題解決に取り組みます。

本事業では農業をより広域的に捉え、長期的な視点で「食」にフォーカスした取組みにチャレンジされる方を広く募集します。